

令和元年度 第1回土木計画学委員会幹事会 議事録

日時：平成31年4月17日(水) 16:30-18:30

場所：弘済会館4階

■ 出席予定者(敬称略)

委員長：藤原章正(広島大学)

副委員長：奥村誠(東北大学)，毛利雄一(IBS)，佐々木葉(早稲田大学)

幹事長：佐々木邦明(早稲田大学)

学術小委員会：紀伊雅教(香川大学)

大会運営小委員会：寺部慎太郎(東京理科大学)，小嶋文(埼玉大学)，春大会幹事：橋本成仁(岡山大学)

委員兼幹事：太田恒平(トライフックブレイン)，谷口綾子(筑波大学)，藤井聡(京都大学)，中矢昌希(中央復建コンソツツ)，紀伊雅教(香川大学)，栗原剛(東海大学)，松永千晶(九州大学)，吉田樹(福島大学)，神田佑亮(呉高専)，稲垣具志(日本大学)，岩田圭祐(寒地土研)

■ 配付資料	(議事次第)	資料 1
1. 前回幹事会議事録(太田)		資料 2
2. 学術小委員会報告(紀伊)		資料 3
3. 運営小委員会報告(寺部・小嶋)		資料 4
4. 春大会準備状況報告(橋本)		資料 5
5. CECAR8 報告(佐々木)		資料 6
6. TDM 状況報告(毛利)		資料 7
7. 小委員会関連報告(中矢・岩田)		資料 8
8. 国際セミナー報告(岩田・松永・眞田)		資料 9
9. ワンデイセミナー報告(石橋・福島・岩田)		資料 10
10. 決算・予算(佐々木)		資料 11
11. 合宿記録・報告(栗原)		資料 12
12. その他		
➤ 国際関連賞内規案(佐々木)		資料 13
➤ 災害調査ガイドライン(佐々木)		資料 14
➤ Web の改修状況について(太田・松永・吉田・稲垣)		

議事録案

1. 前回幹事会議事録

資料 2 に基づいて議事録案が確認され、細かい記載をまとめた上で WEB 等に掲載することが承認された。

2. 学術小委員会報告

紀伊学術小委員会委員より、資料 3 について状況報告があった。D3 特集号 vol.37 の締め切りが春大会直後の 6 月 21 日であること等、スケジュールがこれまでと異なるので留意が必要であるとのことであった。新 WEB 投稿サイトは既に出来ており、vol.37 から運用開始予定である。

3. 運営小委員会報告

寺部大会運営委員より、資料 4 に基づいて第 60 回秋大会の準備状況について説明があり、以下の二点を議論した。主な論点は以下の通り。

【4 日間開催について】

- ・ 4 日間開催が慣例になることは避けた方がよいと思われるため、3 日間開催で前日はプレイベントという位置づけではいかかがか。「プレ研究発表会」という呼称がよいかもしれない。
- ・ 次年度以降、秋大会は「3 日間開催で、前日や後日に若手やチュートリアル、エクスカージョンを自由に設定する」という位置づけとしたい旨、開催校に申し入れすることとなった。この件は 6 月開催の土木計画学研究委員会でも明言することとなった。

【サテライトセッションについて】

- ・ 今後、「秋大会開催校は今回のように開催しなければならない」ということが前提になると開催校の負担が増えないように配慮する必要がある。
- ・ サテライト会場に開催校の教員が張り付けない場合、ロジを担う人(責任を取る人)がおらず、会場準備や機器の不具合などをオーガナイザーが引き受けることとなり、負担が重いのではないか。
- ・ 参加費はこれまでと変更無しで運営する予定。
- ・ 地元の負担が相当に大きいはずである。土木計画学のセッションを、市町村はポジティブに受け入れてくれるのか？日曜日の朝であるし。市町村に強制的に依頼するような形では筋が違う。
- ・ 富山市内であればまだしも、学会を地方活性化のために使うのは難しいのでは無いか。地方活性化は金曜、月曜午後のイベントに参加するというこでよいのでは。
- ・ サテライト会場は富山市からそれほど遠くないところで、地域の負担を最小限に、土木計画学委員会・幹事会も支援する形で実施するというのが現実的。
- ・ 金曜午後のご当地セッションとコラボして実施できるセッション(例えば観光)があれば、そこで発表するという手もあるかもしれない。→金曜午後のセッション案は「見に行く」ことが主体であり、学術発表にはそぐわないと思われる。
- ・ オーガナイザーが遠いサテライト会場に強制的に割り当てられるといやがるのでは無いか。オーガナイザーはおそらくサテライト会場を希望しないと思われる。
- ・ 資料 4 の p.1 案 3 を基本に、会場は近いところで、開催自治体に負担の無い形で検討していただくよう開催校に申し入れすることとなった。

【秋大会の開催全般】

- ・ 地方大学での開催が困難になりつつあり、開催校側の希望をどこまで受け入れるかが課題である
- ・ 皆が集って議論を活性化するという土木計画学委員会・幹事会での議論の方向性とは異なる方向の

アイデアである。基本的には開催校の希望を受け入れるべきであると思うが、例えば参加費の負担をどう担うか等、課題もある。開催校側の希望は可能な範囲で受け入れることを大きな方針として受け入れる、ということで試行的に実施してみる

【その他】

- ・ CaMaaS とは？ 簡単に言うとアプリである。秋大会の予算外で開発する予定。
- ・ 月曜午後の富山市長の講演会には人が来ない可能性が高いが、開催校はそれを承知の上でこの日程にしているとのことである。市長の講演は、日曜午後の招待講演が最も適していると思われ、市長の都合が合わないなどの事情で無ければ、変更を打診することとなった。
- ・ 土曜夜のウェルカムセレモニーは、グランドプラザを活用したいという意図があるとのことであった。イベント等は特に検討されておらず、11 月末で寒いので 1-2 杯お酒を飲むことを想定している。会場代は 7 万円、飲食代は参加者が実費負担とのこと。

4. 春大会準備状況報告

橋本春大会運営委員より資料 5 に基づいて春大会準備状況の説明があり、承認された。

- ・ 一時保育については学外の民間施設を活用する点が前回までと少々異なるとのことであった。
- ・ 2 日目のランチョンミーティングの時間に優秀ポスター表彰を実施したいとの相談があり、もし難しければ表彰を夕方実施する方向で検討したいとのことであった。ランチョンミーティングはこれまで 1 時間時間を取っていたが、原案では 35 分間と短縮されている。開始時刻の前倒しや休憩時間短縮を検討できるかもしれない。→休憩時間 15 分を 10 分に短縮し(両日とも)、ランチョンミーティング前後のバッファ時間を 10 分から 5 分に短縮する他、表彰者一人一人のコメントを割愛して時間短縮を検討することが承認された。

5. CECAR8 報告 (佐々木)

藤原委員長より、4 月 16 日に開催された土木計画学のセッションにて、20 名強の参加者があり、5 名のゲストスピーカーにビッグデータに関する話題提供をいただき、活発な議論が為された旨、報告があった。

6. TDM 状況報告 (毛利)

毛利副委員長より資料 7 に基づいて説明があり、その他に三学会が連携して協力できることがあれば積極的に検討していきたい旨、報告が為された。オリパラの試行実験を 2019 年夏に実施予定であり、そのデータ活用も検討できる可能性がある。また、東京～地方(東北など北部)への展開を土木計画学として後押しすることも検討したいという発言もあった。

7. 小委員会関連報告 (中矢・岩田)

中矢幹事より、資料 8 に基づいて研究小委員会の活動状況報告の書式案(エクセル)の提案があった。研究成果や論文発表、国や自治体の実務への貢献、PR ポイント等は自由記述式で記載してもらう形式で提案され、承認された。

8. 国際セミナー報告 (岩田・松永・眞田)

岩田幹事より資料 9 に基づいて、2018 年度は 20 回の国際セミナー開催があった旨、報告があった。2019 年度は現時点で 3 件あり、WEB 掲載なども順調に進めているとのことであった。

9. ワンデイセミナー報告（石橋・福島・岩田）

岩田幹事より資料 10 に基づいて、2018 年度は 7 回のワンデイセミナーの開催があった旨、報告があった。100 回記念ワンデイセミナーの企画も検討し、6 月の委員会までに 100 回分のセミナー報告をサーベイし、報告することも検討することとなった。第一回はマーケティングサイエンスがテーマであり、1993 年に開催されたとのことで、土木学会の芦川担当に過去のデータを調査してもらうこととなった。

10. 決算・予算（佐々木）

佐々木(邦)幹事長より、資料 11 に基づいて予算執行の報告があり、承認された。

11. 合宿記録・報告（栗原）

栗原幹事より資料 12 に基づいて合宿での議論について報告があった。2019 年度 JSCE 全国大会にて研究討論の場を試行的に設けるため、「災害と土木計画学」「ダイバーシティと土木計画学」というテーマを設定し、セッションを設けることが報告された。

12. その他

➤ 国際関連賞内規案（佐々木）

佐々木幹事長より資料 13 に基づいて内規案の提案がされ、承認された。今後も何か指摘があれば引き続き受け付けるとのことであった。

・選考委員会が誰を推薦したのかは公表するのか？との質問に対し、佐々木幹事長より「公表はしない前提で考えていた」との回答があり、「公表しない方向で運用する」との文言を追加した方がよいとの意見があった。

➤ 災害調査ガイドライン

佐々木幹事長より資料 14 に基づいてガイドライン案の提案がなされ、承認された。今後も何か指摘があれば引き続き受け付けるとのことであった。

➤ Web の改修状況について

吉田幹事よりプロジェクタ投影により WEB 改修状況について報告があった。ドメインは、<http://www.jsce-ip.org> に統一されること、日本語・英語の WEB サイトが整備済みであること、今後は春秋大会の WEB サイトと連携する予定であることについて報告された。また、今後、動作確認について幹事会の皆さんに打診することになるとの協力依頼があった。これに対し、以下の質疑がなされた。

・現状の URL にアクセスしても、しばらくは新 URL に転送することが確認された。

・背景のイメージ写真が東京に限定されており、東京をイメージする都会的なものが使われているのはなぜか？ → 様々な地域の背景画像が使われるように業者に依頼することとなった。

以上